

# 東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野が

2013年に実施した

## 「日本人の食塩摂取量減少のための生体指標を用いた 食事評価による食環境整備に関する研究」

(通称 塩研究)に参加された方へ

2013年に、社会予防疫学分野は、日本人の食塩摂取量およびその摂取源を調べることを目的とした調査(日本人の食塩摂取量減少のための生体指標を用いた食事評価による食環境整備に関する研究、通称・塩研究)を実施しました。これまでこの研究のデータは、社会予防疫学分野のみで解析してきましたが、このデータは大変貴重な情報を含んでおり、今後実施される、日本人の食習慣や生活習慣、食環境などに関連する研究に、個人情報削除したうえで提供させていただくことになりました。

今般、社会予防疫学分野と東邦大学医学部で、共同研究「**特殊な食習慣による栄養素摂取量の不足・過剰に関する研究**」を実施することになりました。健康食品の摂取や特殊な食習慣(菜食など)の、栄養摂取状況への影響を検討します。この研究で、塩研究のデータを二次利用します。この研究の研究代表機関は東邦大学医学部社会医学講座予防医療学分野であり、個人情報削除したデータは同講座に提供されます。

つきましては、**塩研究に参加された方で、他の研究で、ご自身のデータが利用されることを希望されない場合は2024年3月15日までに末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。**このお知らせは、塩研究に参加された方に対して、塩研究への参加の同意撤回の有無をお伺いするものではなく、参加者の方のデータを他機関へ提供することへの可否をお伺いするものです。他機関へのご自身のデータの提供を拒否されても、塩研究への参加の同意撤回がない場合は、引き続き、社会予防疫学分野での研究に試料・データを利用させていただきます。

なお、塩研究そのものの研究機関・方法・研究期間に関する変更はございません。

### 【研究課題】

特殊な食習慣による栄養素摂取量の不足・過剰に関する研究

(東邦大学医学部倫理委員会 審査番号 A23086)

### 【個人情報を含まないデータの提供先と、提供先における研究責任者】

東邦大学医学部社会医学講座予防医療学分野 教授・朝倉 敬子

### 【本研究のデータを使って行われる新たな研究の研究期間】

東邦大学医学部倫理委員会での承認日～2026年10月31日

### 【対象となる方】

2013年1月～3月に、東京大学医学系研究科社会予防疫学分野が実施した日本人の食塩摂取量減少のための生体指標を用いた食事評価による食環境整備に関する研究(通称・塩研究)に参加した方

### 【本研究のデータを使って行われる新たな研究の目的・意義】

一般集団における健康食品やサプリメントなどの摂取者割合を検討すること、健康食品など摂取者の特徴を検討すること、その他の特殊な食習慣（菜食など）と栄養素・食品摂取状況等の関連について検討すること、代表的な栄養素等について、全摂取量および健康食品からの当該栄養素摂取量を検討すること、を目的とします。

#### 【本研究のデータを使って行われる新たな研究の方法】

ご参加いただいた「日本人の食塩摂取量減少のための生体指標を用いた食事評価による食環境整備に関する研究（通称・塩研究）（審査番号：10005）」にて提供いただいた、食習慣に関する資料（性別、年齢、居住地域等の基本情報、4日間の食事記録データ、身長・体重の測定データ）、質問票データ、生体指標の分析データを利用させていただく研究です。研究参加者の皆さんに新たにご負担いただくことはありません。

本研究の研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、当該のお知らせの末尾に記載する連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

#### 【個人情報の保護】

この研究に関わって取得される資料・情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

塩研究で取得した資料・情報等は、東邦大学医学部社会医学講座予防医療学分野に送られ解析・保存されますが、送付前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにします。

東邦大学医学部社会医学講座予防医療学分野では、倫理委員会にて承認される新たな研究計画書に則り、提供先機関の研究責任者が責任をもって管理します。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌で公表します。

取得した情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了後10年間保存されます。保管期間終了後には、データをパソコンおよび保存用の機器から削除することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

本研究で、ご自分（あるいはご家族）の情報・データ等を使用してほしくない場合は下記の問い合わせ先に **2024年3月15日**までにご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

提供いただいた試料・情報の管理の責任者は下記の通りです。

#### 【試料・情報の管理責任者】

所属：東京大学大学院医学系研究科社会予防疫学分野

氏名：村上 健太郎

なお、あなたへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2024年 2月

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者（現在）：村上 健太郎

連絡担当者：杉本 南

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院医学系研究科 社会予防疫学分野

電話：03-5841-7872（内線 27872）

e-mail：nebnbox@m.u-tokyo.ac.jp